

●施設の概要

施設名	岐阜市畜産センター公園	所管課	都市建設部公園整備課
所在地	岐阜市椿洞 776 番地 4		
指定管理者名	昭和造園土木株式会社		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
選定方法	☒ 公募 ☐ 非公募		
料金制	☐ 使用料 ☐ 利用料金 ☒ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	134,000,000 円		
施設の設置目的	広大な自然環境の中で、散策やレクリエーションなどの市民の活動のほか、自然と触れ親しみ、体験し、楽しむことができる場として設置		
施設概要	・公園種別 総合公園 ・開設年月 昭和48年3月 ・開設面積 261,565 m² ・主な施設 芝生広場、遊具広場、バラ園、乗馬施設、ドッグラン、交通教室、グラウンド、展望エリア ・その他の施設 園路、登山道、展示スペース、ビジターハウス、トイレ、休憩所、駐車場など		

●利用状況

単位：名

		一般利用者	バーベキュー施設	グラウンド使用	遠足・見学等団体利用	交通教室利用	利用者合計
R3 年度	上半期	69,952	0	6,231	480	2,318	78,981
	下半期	75,733	0	12,842	1,894	3,402	93,871
	合 計	145,685	0	19,073	2,374	5,720	172,852
R4 年度	上半期	64,802	0	7,695	2,631	2,731	77,859
	下半期	76,887	0	7,202	4,761	3,404	92,254
	合 計	141,689	0	14,897	7,392	6,135	170,113
R5 年度	上半期	63,924	0	7,643	3,374	3,116	78,057
	下半期	72,624	0	6,629	5,356	4,148	88,757
	合 計	136,548	0	14,272	8,730	7,264	166,814
R6 年度	上半期	65,547	0	7,993	3,747	3,082	80,369
	下半期	68,974	0	7,394	3,741	4,069	84,178
	合 計	134,521	0	15,387	7,488	7,151	164,547
R7 年度	上半期	63,060	0	7,707	4,185	3,175	78,127
	下半期						
	合 計	63,060	0	7,707	4,185	3,175	78,127

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容・時期等）
利用者 サービス	1 経営管理に関すること	1 事業実施計画書の作成 毎年4月作成 2 業務日報 毎日 3 業務報告書 毎月
	2 施設の運営に関すること	1 市内を中心とした各団体との連携並びに協議会を設置 - 岐阜市畜産センター公園運営協議会 椿洞自治会 会長、椿洞農業用施設管理組合 組合長、岐阜市常磐農政推進委員 - 諸団体へ活動支援及び活動協力を行った。 岩野田児童センター ときわまちづくり協議会 NPO 法人ふれあいの森自然学校 岩野田中学校（支援学級体験学習 生徒受け入れ） 岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物班（環境整備） 2 教育による知識向上 - 飼養衛生管理関連教育 随時 - 緊急時対策教育 随時 - 危機管理対策教育 随時 - 接遇教育 随時 - 岐阜県公安委員会 安全運転管理者講習 6/5 - ぎふ森遊びネットワーク 大人向けの里山の生き物講座～危険生物編～ 6/8 - 公園管理運営士会中部支部 江戸の園芸文化、豊田市鞍ヶ池公園の管理運営について 6/24 - 一般社団法人中部電力保安協会 電気保安講習会 6/24 3 資格保有者による管理 - 動物取扱責任者 - 公園管理運営士（常勤・非常勤） - 造園施工管理技士（1級・2級） - 樹木医 - 岐阜県農薬管理指導士 - 食品衛生責任者 4 社会活動への貢献 - 自主事業の売上の一部を「むすびえ」、「世界の子供」に寄付 「むすびえ」49,100円 「世界の子供」49,100円 「働きたい!応援団 ぎふ」 サポーター企業に登録
	3 乗馬業務	1 給餌、厩舎清掃、体調管理 2 乗馬、引き馬、ふれあい活動 （運営は、自主事業として岐阜市乗馬会に委託）

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況（実施内容・時期等）
利用者 サービス	4 広報の方策について	1 WEB サイト(ホームページ)やスタッフブログを通じ情報を発信 2 公式 LINE アカウントによる情報発信 イベント情報 : 都度 公園の日々の変化: 週 1 回程度(季節の植物、お知らせ等) 3 Instagram 公園の日々の変化: 週 1 回程度(季節の植物等) 公園内の今のオススメ情報を発信し、見ごろ箇所には「おすすめスポット」看板を月替わりに設置。 インフォメーションに、「おすすめスポット」箇所を掲示。 4 X (旧 Twitter) Instagram、YouTube 投稿のお知らせ 5 YouTube 公園内の様子、見どころ解説等: 適時 6 公園パンフレット・ハイキングマップ公園内配布 7 フリーペーパーに公園情報の掲載 8 民間雑誌・ムック・フリーペーパー(電子版を含む)への掲載 ・中日岐阜ホームニュースわっちとおまはん 4, 5, 6, 7, 8, 9 月号 9 情報サイト(ウェブサイト)、電子アプリ等への施設情報の掲載 ・「まっぶる情報」(昭文社) ・「のびとく」 ・「PARKFULL」(公園専門サイト) ・「おでかけトヨタ」すべり台特集 ・「HondaDog」おでかけ情報 ・「ウォーカープラス」((株)KADOKAWA、(株)角川アップリンク) ・NAVITIME((株)ナビタイムジャパン) ・「東海おでかけ公園 BEST ガイド」(株式会社流行通信) 10 スマホ等用アプリに掲載 ・おでかけ用アプリ「のびとく」 11 新聞に掲載 ・岐阜新聞 バラまつり開催告知 5/13 バラまつり 5/24 12 ケーブルテレビ放映 ・バラまつり告知 5/16 ・バラまつり 5/20 ・夏の草木染めワークショップ 7/3

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	1 喫茶店の営業	実施	通年	利用者の憩いの場として飲み物、軽食を販売した。
	2 喫茶店のメニューの 充実	新規	4月～9月	<u>軽食メニューとして、香ばしい醤油ラーメンと、かき氷にディップインドツアイス</u> <u>をトッピングしたユニークなスイーツを追加した。</u> <u>見た目のインパクトと、シャリシャリ&つ</u> <u>ぶつぶの食感が楽しめる、特別なメニュー</u> <u>を提供した。</u>
	3 ドッグラン	実施	通年	フリーゾーンと中型小型ゾーンの 2 つのエリアで運営した。(登録犬数 0 頭/上期)
	4 里山植物園	実施	通年	森林に自生する野生種・貴重種を集めた施設を運営した。
	5 自然観察コーナー (ビジターハウス玄関ホール内)	実施	通年	身近な自然に親しみ、学ぶことのできるコーナーを設置し、木の実、昆虫、鳥の巣・ハチの巣、岩石等の標本や木の実等を使ったクラフト(手作り工芸品)を展示した。
	6 樹木名板の設置	実施	通年	公園まるごと植物図鑑構想に向け、樹木名板を随時設置した。
	7 薪販売	実施	通年	SDGs の目標 15 の取り組みとして、伐採した樹木は土留め柵等に再利用、再利用できないものは薪に加工し、販売した。
	8 プレーパーク	実施	4月12日 6月14日 7月20日 9月13日	子どもも大人も、「やりたい」気持ちを大切にして、各自の責任で自由に遊びを作り出していくイベントを開催した。
	9 校外学習受け入れ 岩野田中学校支援学級	実施	4月10日 4月24日 5月29日 6月12日 7月3日 9月12日	岩野田中学校の支援学級担任教師から校外学習の依頼を受け、散策会やクラフト体験、農作業体験などの校外学習を行った。
	10 椿洞ワクドキ 自然散策会	実施	5月22日 6月26日 9月25日	森の案内人から季節の草花や木々についての話を聞き、森の中を散策するイベントを行った。
	11 バラまつり	実施	5月17日 5月18日	バラ苗の販売や人気投票、バラ園のガイドツアーなど、これまでの定番イベントに加え、ポニーの乗馬体験やふれあいコーナー、バラに関するクイズ大会、お菓子のプレゼント、写真映えするフォトスポットの設置など、子どもから年配の方まで幅広い世代が楽しめる内容でイベントを開催した。
	12 季節の花の寄せ植え ワークショップ	実施	4月17日	青・黄・白の花にグリーンを添えて、爽やかな春の雰囲気たっぷりの寄せ植えを作るワークショップを開催した。
	13 はじめてのバラの 育て方教室	実施	4月25日	これからバラを育てたい方や、育て始めたばかりの方を対象に、バラの基本的な育て方を学べる講習会を開催した。 水やりや剪定のコツなど、初めてでも安心して始められる内容とした。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	14 カフェタイム コンサート	実施	5 月 25 日	ギターとピアノ＆鍵盤ハーモニカのデュオ“アコースティックデュオ eile”によるコンサートを開催した。
	15 ハーブを使った香りの ワークショップ	実施	6 月 13 日	ラベンダーで作る香りのスティックや、針葉樹やハーブを使ったナチュラルなスワッグづくりを楽しむワークショップを開催した。 植物の香りに癒されながら、手作りのクラフトを体験できる内容とした。
	16 夏の草木染め ワークショップ	新規	6 月 30 日	<u>輪ゴムやペットボトルのフタ、割りばしを使って手ぬぐいに絞り模様をつけ、サクラの枝やクサギの葉から抽出した天然染料で染めるワークショップを開催した。</u> <u>身近な道具で気軽に挑戦できる奥深い染め物の世界を体験していただいた。</u>
	17 葉っぱ×陶芸 葉脈標本 ワークショップ	新規	7 月 17 日	<u>園内で集めた草木の葉を陶芸用の粘土に押し当てて、葉脈の繊細な模様を写し取るワークショップを開催した。</u> <u>自然の美しさをそのまま形に残す、アートとクラフトが融合した体験をしていただいた。</u>
	18 苔玉ワークショップ	実施	7 月 25 日	観葉植物やシダなどを組み合わせて寄せ植えし、まわりをふわふわの苔で包んで、丸くてかわいい苔玉に仕上げるワークショップを開催した。 自然の癒しを感じながら、自分だけの小さな緑のインテリアを作る体験をしていただいた。
	19 サマーリースの ワークショップ	新規	7 月 29 日	<u>青く染めたバラやカーネーション、さらに 10 種類ほどのドライフラワーの中から好きな花材を選んで、リース台に自由に飾りつけるワークショップを開催した。</u> <u>色とりどりの花を使って、参加者それぞれの感性で世界にひとつだけのオリジナルリースが完成した。</u>
	20 0 歳からのコンサート	実施	8 月 4 日	小さなお子さまのペースに合わせて、ご家族みんなで気軽に音楽を楽しめるコンサートを開催した。 リラックスした雰囲気の中で、音楽の楽しさをみんなで味わえる時間となった。
	21 小枝のフレームと ウッドフラワーの ワークショップ	新規	8 月 8 日	<u>葉ボタン、ビオラ、ネメシアなど 6 種 7 株の春先まで楽しめる季節の花を寄せ植えに仕上げるワークショップを開催した。</u>
	22 親子で ドライフラワーリース のワークショップ	新規	8 月 23 日	<u>ドライフラワーや葉っぱ、木の実、パスタなど、約 50 種類の花材の中から、好きなものを自由に選んで、自分だけのリースを作るワークショップを開催した。</u> <u>素材選びから飾りつけまで、創造力を発揮できる楽しいクラフト体験となった。</u>
	23 多肉植物の寄せ植え ワークショップ	実施	9 月 26 日	10 種類ほどの多肉植物の中から好きなものを選んで、オリジナルの寄せ植えを作るワークショップを開催した。 色や形の違いを組み合わせ、自分だけのミニガーデンを作る体験は大好評だった。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
自主事業・ 提案事業	24 ビジターハウス 展示ホールの 壁面展示	実施	通年	4月1日～28日 絵画展 上記以外は、季節ごとに園内の植物や風景 の写真を展示した。

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
施設管理	1 建物施設管理	実施	通年	建物の点検、清掃
	2 病害虫の防除	実施	通年	日常の確認・除去
	3 管理道路・散策路の管理	実施	通年	パトロール(環境整備作業巡回時に実施)、 除草・階段補修・修繕、倒木、落枝、折枝、 枯損木、枯枝、除雪等処理
	4 ため池(松尾ヶ池)の管理	実施	通年	パトロール(環境整備作業巡回時に実施)、 除草
	5 駐車場の管理	実施	通年	パトロール(環境整備作業巡回時に実施)、 除草、枯損木・枯枝・不法投棄ゴミ等除去、 ライン引き
	6 日常点検業務・施設の保守 点検・定期管理業務	実施	通年	施設(火災報知機器、電気系統)の保守点 検・定期管理業務の適宜実施
	7 森林、山、広場、バラ園、 花壇等の管理	実施	通年	・散策路のパトロール ・枯損木、倒木、支障木、折枝、支障枝の 処理、除草 ・樹木医による診断実施(2回/年) ・芝刈り、除草、病害処理、補修、排水改 良、剪定、花殻摘み、病害虫防除・消毒 他 ・花壇に花苗植栽 ビジターハウス前花壇 2回 その他花壇(15カ所) 2回 計 3,020 株 ・里山植物園の維持管理 (身近な野草等を集積) ・湿生植物園の維持管理 ・アジサイ園の維持管理
	8 トイレ等定期点検業務	実施	通年	園内のトイレ等の点検
	9 サンデー広場の管理 (芝生広場)	実施	通年	・芝刈り 年 10 回以上 実施 (今期 7 回実施) ・ブラッシング 年 4 回以上 実施 (今期 7 回実施) ・施肥、殺菌、土壌処理の実施 ・支障枝の除去 ・病虫獣害対策 1 回 ・落葉・落枝清掃、野生動物の糞の始末、 ゴミ拾い

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況		
		履行状況	履行実施月	備 考
施設管理	10 衛生管理対策	実施	随時	・「家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」に基づき実施 ・飼養衛生管理基準の遵守 1 洗浄・消毒環境の整備 2 チェックシートを用いた消毒の徹底 ・野外動物対策 1 扉、柵、網等の設置・保守 2 掘起し・糞があった場合、石灰散布
	11 公園及び衛生管理区域への立ち入り制限及び措置	実施	随時	公園及び衛生管理区域の出入口 1 プラスチックフェンスを設置 2 立ち入り禁止等、入場制限表示を設置 3 石灰帯による消毒の注意喚起看板設置 4 石灰帯の設置
	12 家畜飼養管理			
	1) 獣医師等による診療、予防接種等	・馬の健康管理 (疝痛 1回、傷などの治療 4回、装蹄 2回) ・馬の予防接種 (インフルエンザ 2回／年、日本脳炎 1回／年、破傷風 1回／年)		
	2) 飲水設備清掃	毎日実施		
	3) 馬房清掃	毎日実施		
	4) 消毒	・衛生管理区域・厩舎の出入口に洗浄槽・消毒槽を設置し、チェックシートを用いて管理 ・噴霧器を用いて車両下部を中心に消毒 ・イノシシの糞があった場合、該当箇所に石灰散布		
	5) 飼料給与	乗用馬：4回／日		
	6) おが粉交換	適宜交換		
	7) 餌の配合	ふすま＋ネオナリーン		
	8) 管理業務	1 乗馬施設堆肥運搬：毎日 2 おが粉引き取り：今期3回 3 体調管理(乗馬)：毎日 4 衛生管理区域内の除草 5 馬房の管理・修繕		

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況																																								
施設修繕	修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	<table><thead><tr><th>【修繕内容】</th><th>【場所】</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 小便器故障修理</td><td>健康広場</td></tr><tr><td>2 イノシシ被害修繕</td><td>健康広場</td></tr><tr><td>3 馬房壁修繕</td><td>乗馬施設</td></tr><tr><td>4 扉カギ修繕</td><td>予備鶏舎</td></tr><tr><td>5 イノシシ被害修繕</td><td>健康広場</td></tr><tr><td>6 イノシシ被害修繕</td><td>湿性植物園奥</td></tr><tr><td>7 ブロワー取替修繕</td><td>北駐車場トイレ</td></tr><tr><td>8 伐採工</td><td>園内</td></tr><tr><td>9 庇修繕</td><td>乗馬施設</td></tr><tr><td>10 給水口補修</td><td>湿性植物園奥</td></tr><tr><td>11 花壇解体</td><td>藤棚花壇</td></tr><tr><td>12 舗装補修</td><td>芝生広場南</td></tr><tr><td>13 山道補修</td><td>北展望～中野峠</td></tr><tr><td>14 馬房壁板補修</td><td>乗馬施設</td></tr><tr><td>15 水道蛇口取替修繕</td><td>グラウンド</td></tr><tr><td>16 ソーラーセンサー取付</td><td>四阿、グラウンド、北駐車場</td></tr><tr><td>17 イノシシ被害修繕</td><td>健康広場</td></tr><tr><td>18 水飲み場給水管漏水修繕</td><td>健康広場</td></tr><tr><td>19 谷川浚渫工事</td><td>門倉庫西</td></tr></tbody></table>	【修繕内容】	【場所】	1 小便器故障修理	健康広場	2 イノシシ被害修繕	健康広場	3 馬房壁修繕	乗馬施設	4 扉カギ修繕	予備鶏舎	5 イノシシ被害修繕	健康広場	6 イノシシ被害修繕	湿性植物園奥	7 ブロワー取替修繕	北駐車場トイレ	8 伐採工	園内	9 庇修繕	乗馬施設	10 給水口補修	湿性植物園奥	11 花壇解体	藤棚花壇	12 舗装補修	芝生広場南	13 山道補修	北展望～中野峠	14 馬房壁板補修	乗馬施設	15 水道蛇口取替修繕	グラウンド	16 ソーラーセンサー取付	四阿、グラウンド、北駐車場	17 イノシシ被害修繕	健康広場	18 水飲み場給水管漏水修繕	健康広場	19 谷川浚渫工事	門倉庫西
【修繕内容】	【場所】																																									
1 小便器故障修理	健康広場																																									
2 イノシシ被害修繕	健康広場																																									
3 馬房壁修繕	乗馬施設																																									
4 扉カギ修繕	予備鶏舎																																									
5 イノシシ被害修繕	健康広場																																									
6 イノシシ被害修繕	湿性植物園奥																																									
7 ブロワー取替修繕	北駐車場トイレ																																									
8 伐採工	園内																																									
9 庇修繕	乗馬施設																																									
10 給水口補修	湿性植物園奥																																									
11 花壇解体	藤棚花壇																																									
12 舗装補修	芝生広場南																																									
13 山道補修	北展望～中野峠																																									
14 馬房壁板補修	乗馬施設																																									
15 水道蛇口取替修繕	グラウンド																																									
16 ソーラーセンサー取付	四阿、グラウンド、北駐車場																																									
17 イノシシ被害修繕	健康広場																																									
18 水飲み場給水管漏水修繕	健康広場																																									
19 谷川浚渫工事	門倉庫西																																									
危機管理・法令遵守	その他の留意事項、関係法令の遵守、個人情報の保護、非常時の対応策について	<table><tbody><tr><td>1 その他の留意事項</td></tr><tr><td>・公園に対する意見に対し丁寧に話を聞き、迅速な対応に努めた。</td></tr><tr><td>・家畜(馬)の健康状態に留意し、必要に応じ獣医師に診察を依頼した。</td></tr><tr><td>・衛生管理区域の防疫体制の維持のため、公園整備課の立ち合いの下、現地確認を行った。(毎月1回)</td></tr><tr><td>2 関係法令の遵守</td></tr><tr><td>・関係法令について、その遵守の徹底を図った。</td></tr><tr><td>3 個人情報の保護等</td></tr><tr><td>・守秘義務について全体会議で徹底し、拾得物の確認などで個人情報を確認する場合は個人情報の保護に努めた。</td></tr><tr><td>4 非常時の対応策について</td></tr><tr><td>・各種講習会を実施して、適正な対応が出来るよう備えた。</td></tr><tr><td>1) A E D 備品の取り替え (有効期限管理)</td></tr><tr><td>2) 防火訓練の実施 (年2回)</td></tr><tr><td>3) 救命講習 (年1回)</td></tr><tr><td>・台風情報を受け、危険箇所の点検・補修を行った。</td></tr><tr><td>・豪雨の際に、設備・施設を点検し、危険箇所の立入禁止、枝折れ等危険箇所の修繕を行った。</td></tr><tr><td>・職員緊急連絡網の整備と更新</td></tr><tr><td>5 防犯カメラを3か所(南駐車場、芝生広場の多目的広場、複合遊具)設置し、事故・犯罪の予防、事象の確認に役立てている。</td></tr></tbody></table>	1 その他の留意事項	・公園に対する意見に対し丁寧に話を聞き、迅速な対応に努めた。	・家畜(馬)の健康状態に留意し、必要に応じ獣医師に診察を依頼した。	・衛生管理区域の防疫体制の維持のため、公園整備課の立ち合いの下、現地確認を行った。(毎月1回)	2 関係法令の遵守	・関係法令について、その遵守の徹底を図った。	3 個人情報の保護等	・守秘義務について全体会議で徹底し、拾得物の確認などで個人情報を確認する場合は個人情報の保護に努めた。	4 非常時の対応策について	・各種講習会を実施して、適正な対応が出来るよう備えた。	1) A E D 備品の取り替え (有効期限管理)	2) 防火訓練の実施 (年2回)	3) 救命講習 (年1回)	・台風情報を受け、危険箇所の点検・補修を行った。	・豪雨の際に、設備・施設を点検し、危険箇所の立入禁止、枝折れ等危険箇所の修繕を行った。	・職員緊急連絡網の整備と更新	5 防犯カメラを3か所(南駐車場、芝生広場の多目的広場、複合遊具)設置し、事故・犯罪の予防、事象の確認に役立てている。																							
1 その他の留意事項																																										
・公園に対する意見に対し丁寧に話を聞き、迅速な対応に努めた。																																										
・家畜(馬)の健康状態に留意し、必要に応じ獣医師に診察を依頼した。																																										
・衛生管理区域の防疫体制の維持のため、公園整備課の立ち合いの下、現地確認を行った。(毎月1回)																																										
2 関係法令の遵守																																										
・関係法令について、その遵守の徹底を図った。																																										
3 個人情報の保護等																																										
・守秘義務について全体会議で徹底し、拾得物の確認などで個人情報を確認する場合は個人情報の保護に努めた。																																										
4 非常時の対応策について																																										
・各種講習会を実施して、適正な対応が出来るよう備えた。																																										
1) A E D 備品の取り替え (有効期限管理)																																										
2) 防火訓練の実施 (年2回)																																										
3) 救命講習 (年1回)																																										
・台風情報を受け、危険箇所の点検・補修を行った。																																										
・豪雨の際に、設備・施設を点検し、危険箇所の立入禁止、枝折れ等危険箇所の修繕を行った。																																										
・職員緊急連絡網の整備と更新																																										
5 防犯カメラを3か所(南駐車場、芝生広場の多目的広場、複合遊具)設置し、事故・犯罪の予防、事象の確認に役立てている。																																										

●利用者評価

利用者アンケートの 実施状況	公園利用者 480 名から回答を得た。 (実施期間：令和 7 年 4 月 1 日～令和 7 年 9 月 30 日)
利用者アンケートの 実施結果	1) 年 齢：10 代 2%、20 代 6%、30 代 31%、40 代 26%、50 代 13%、60 代以上 22% 2) 性 別：男性 42%、女性 58% 3) 住 所：市内 69%、山県市 9%、その他県内 17%、県外 5% 4) 来園人数：1 人 11%、2 人 30%、3 人 26%、4 人 18%、5 人以上 15% 5) 来園形態：家族 71%、親戚 2%、友人 11%、友人とその家族と 3%、 その他(一人で) 13% 6) 知名度：前から知っていた 87%、口コミ 5%、ウェブサイト 2%、SNS 1%、 広報ぎふ 2%、その他 3% 7) 来園頻度：ほぼ毎日 1%、週 2～3 回 10%、月に 1～2 回 24%、年に数回 19%、 久々・たまに 41%、初めて 5% 8) 来園目的：散歩・散策 19%、芝生広場 29%、複合遊具 17%、ドッグラン 12%、 交通教室 13%、グラウンド 2%、その他 8% 9) 満足度ハード面：(大変満足・満足合計 87%) 大変満足 32% 満足 55% 普通 11% やや不満 1% 不満 1% 10) 満足度ソフト面：(大変満足・満足合計 85%) 大変満足 31% 満足 54% 普通 14% やや不満 1% 11) 職員の対応：(大変満足・満足合計 85%) 大変満足 32% 満足 53% 普通 15% 12) 総合満足度：(大変満足・満足合計 90%) 大変満足 34% 満足 56% 普通 10% 13) 次回の利用について： 来る 72%、来たいと思う 14% どちらともいえない 1% ○評価対象となる項目の合計 1) 満足度ソフト面：(大変満足・満足計 84.6%) 2) 職員の対応：(大変満足・満足計 84.6%) 3) 総合満足度：(大変満足・満足計 89.4%)
利用者からの 要望・苦情と 対処・改善	・令和 6 年度のバラまつりの参加者から、購入したバラ苗の育て方を知りたいとの要望を受けた。 →令和 6 年度のバラまつりでは育て方講習会を開催したものの、参加人数に制限があり、購入者全体への周知が十分でなかった。このため、YouTube 上にバラの育て方動画を作成し、購入者に QR コードを配布することで、購入後のアフターケアを実施した。 ・アンケートや問い合わせで、動物を見たいとの要望を受けた。 →バラまつりにおいて、ポニーの乗馬体験等を実施した。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	市民が平等に利用できるための基本的な考え方についての評価	○有料公園施設や駐車場の利用について平等性を保つ姿勢や方策を実施している	A	A	A
			○法令等で禁止されている行為、危険行為、迷惑行為について使用の制限などを実施している	A	A	A
		当該都市公園に関する情報の公開、広報の方策についての評価	○当該都市公園について、広く利用情報を公開、発信する姿勢、方策を実施している	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	事業計画書の内容における基本的な考え方についての評価	○「公の施設」を運営・管理するという基本的な考え方を有し業務を遂行している	A	A	A
		園内の施設等管理に対する考え方についての評価	○各施設の維持管理のため、各施設の特徴を理解して管理・運営している	A	A	A
			○施設（有料公園施設については除く）の維持管理のため、安全性、機能保全、快適性を確保する管理・運営を実施している	A	A	A
			○家畜等の飼育の基本方針に従い、具体的な方策を実施している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生管理、草刈、樹木剪定を実施している	A	A	A
			○公園利用者が快適に過ごすことのできる芝生（サンデー広場）の育成管理を実施している	A	A	A
		管理の質及び利用者サービスの向上に対する取り組みについての評価	○管理の質及び利用者サービスの向上に対する具体的な方策を実施している	A	A	A
			○利用者ニーズや苦情に対する把握方策及びその対応策を実施している	A	A	A
			○当該公園全体の利用促進に対する方策を実施している	A	A	A
		その他応募者の独自提案	○その他公園の設置目的を最大限に発揮できるような独自提案について実施している	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管理者	所管課	評 価 委員会
効 率 性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	「事業計画書の内容が管理経費の削減が図られるものであること」に対する基本的な考え方についての評価	○当該公園の効用が最大限に発揮できるための、効率性の高い業務を遂行している	A	A	A
		管理に係る経費の削減に対する取り組みについての評価	○指定管理経費を削減するための方策を実施して、指定管理料に反映されている	A	A	A
			○スタッフ（採用予定者も含む）の配置は適正なものとなっている	A	A	A
		その他経費削減について応募者の独自提案	○経費削減について応募者の独自提案を実施している	A	A	A
		区分評価				A
安 定 性 安 全 性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	当該団体の業務遂行能力についての評価	○業務を遂行できるための安定的な経営基盤を有している	A	A	A
			○業務を遂行できる適正な団体構成となっている	A	A	A
			○組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格が適正であり、ノウハウ、専門知識等を使い管理している	A	A	A
			○業務を遂行するにあたり、スタッフ（採用予定者を含む）の管理、適正な監督体制をとり、人材育成の方策を実施している	A	A	A
			○施設の日常点検、定期点検など、異常を早急に発見しようとする方策を実施している	A	A	A
			○異常があった際に、応急措置を行う体制が整っている	A	A	A
			○法令を遵守する重要性や個人情報保護について理解し、情報の漏洩を防ぐための方策を実施している	A	A	A
		緊急時における対応についての評価	○事故を予防するための体制が整っている	A	A	A
			○事故の発生時に被害者への対応及び施設の復旧などの方策を実施している	A	A	A
			○大雨、地震などの災害発生が予想されるとき、または発生した時の体制が整っている	A	A	A
			○災害発生後の対応について、罹災状況の確認と早急な復旧をする態勢が整っている	A	A	A
		区分評価				A

区 分	選 定 基 準	評 価 項 目	具 体 的 な 業 務 要 求 水 準	評 価		
				指 定 管 理 者	所 管 課	評 価 委 員 会
貢 献 性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	事業計画書が地元活性化、地元 に貢献できる内容であるかの 評価	○地元での社会活動を具体的に 実施している	A	A	A
			○公園の特徴を理解し、地元への 配慮等を実施している	A	A	A
			○地元の法人その他の団体の育 成施策を実施している	A	A	A
			○地元の住民、高齢者、障害者等 の雇用が確保されている	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

前回までの意見を踏まえた取組み状況	1 自然と触れ合う機会の創出を目的としたイベントを開催し、幅広い世代の利用促進を図った。 2 岐阜県中央家畜保健所、岐阜市畜産課、岐阜市公園整備課と連携し、「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」の飼養衛生管理基準を遵守した。 3 公園情報が発信される取り組みとして、イベント情報や季節ごとの見どころを、インフォメーション、ホームページ、SNS、広報ぎふで情報発信を行った。
今期の取組に対する評価	1 畜産エリア・乗馬施設 乗馬施設では、6頭の乗用馬を飼養している。 飼養衛生管理基準の遵守 ・各種チェックシートを活用して、「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」を遵守した。 ・車両消毒のため、各衛生管理区域出入口にて高圧洗浄機・動力噴霧器を使用し防疫を徹底した。 ・「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」に基づいた衛生管理を実施した。 ・衛生管理区域を示して、(関係者以外の)立入禁止区域を周知した。 その他 ・良好な環境保持のため、家畜放牧場・園路・広場等畜産エリア内の除草・枯れ枝処理・芝生管理を行った。 ・乗馬施設の出入口に看板を設置し、施設利用者の誘導を図った。 ・乗用馬の罹病防止対策として装蹄、予防注射、各種診療を行った。 (傷治療8回、装蹄2回、センツウ3回、歯治療1回)・・・自主事業報告と相違 2 公園エリア 環境対策 ・園内花壇に花苗を植栽した。 (15か所で2回、ビジターハウス前花壇2回、計3,020株) ・園内各所の除草・枯損木の伐倒・枯れ枝の処理をした。 ・芝生広場に排せつされた野生動物の糞を1回除去した。 ・芝生広場管理(芝刈り7回 ブラッシング7回 病虫害対策1回)をした。 ・バラ園の除草・剪定・病虫害防除・捕殺を行った。 (春のバラ園 5月10日～6月30日) ・安心して散策ができるよう森林内山道付近の枯損木、傾斜木、枯れ枝を処理、雨水等で浸食された 山道の凹凸部に土砂入による整備、林内の伐採木を利用した土留め補強を行った。 ・倒木の危険が予測された枯損木を伐採した。 ・植物見本園内の植物を同定し、重複する植物の選定と複数重複した樹木の伐採・剪定を行った。 また、植物の位置を測量し、今後の園内マップ等に反映させる取り組みを行った。 ・北展望台、南展望台、中野峠を結ぶ山道の通行に支障を与える支障枝、折れ枝等について、剪定、伐採を行った。 ・ドッグラン東側法面の樹高約20m程度の老木を伐採し、園路への倒木を未然に防止した。 ・ドッグランの維持管理として、刈り払い機による除草、凹んだ箇所への砂入れによる修復を行った。 ・プレーパーク開催に向け、開催場所及び周辺の草刈り管理について、子供たちが遊び場として利用しやすい草丈で草刈りを実施するとともに危険昆虫、動物の駆除を行った。

今期の取組に対する 評価	3 その他 ・来園者へのサービス向上のため、飲食を提供した。 ・軽食メニューとして醤油ラーメン、かき氷にディッピングアイスをつまみ食いメニューを追加した。 ・地域交流として毎月「ときわまちづくり協議会」へ参加した。 ・園内で見ごろを迎える花・木等の情報発信は、「おすすめスポット」と称して見ごろの場所を設定し、インフォメーション、ホームページ、Instagram、X等で公開した。 ・おすすめスポットの位置について、全職員が把握できるよう毎日の終礼時に周知し、園内利用者からの問い合わせに対応した。 ・自然に触れ合う機会の創出を目的とした「自然散策会」を3回開催した。 ・自然の中で子供たちが自由な発想で遊びが体験できるプレーパークを3回開催した。 ・春のバラまつりを開催した。 ・バラまつりは、5月17日(土)・18日(日)の2日間開催を計画したが、初日大雨のため、初日は規模を縮小して開催した。 ・1日目は、バラの新苗の販売とバラ担当職員による「にっしーのバラガイド」と称し、バラ園の栽培方法、園内のバラの特長など、バラの説明を加えながら散策する会を午前・午後の2回開催した。 ・2日目はキッチンカー、マジックショー、ピザ焼き体験、にっしーのバラガイド、来園者が撮影したバラの写真を缶バッジに加工してプレゼントした。また、ビジターハウス内の展示ホールにバラの切り花やバルーンを飾り、インスタ映えするフォトスポットを2カ所設置した。お客様アンケートで要望が高い動物とのふれあいに、笠松町から馬を使ったセラピーを専門とするホースランド様に依頼し、乗馬、餌やり体験、ワークショップを開催した。 ・バラの新苗の販売は、2日間で合計350本のご購入があった。お客様の要望で開催「にっしーのバラガイド」は、2日間の午前と午後、1日2回開催したが、出席できないお客様向けに、にっしーのバラ育て方動画を製作し、ホームページやQRコードで動画を配信した。 ・希少生物保護のため、産卵地の整備、捕食する生物の移動および駆除(外来種)など、岐阜高校の指導を受けながら環境整備を行った。 ・ワークショップの参加人数は次のとおり。 ・季節の花の寄せ植えワークショップ：午前と午後各30名の募集に対し、午前30名、午後23名の申し込み。 ・はじめてのバラの育て方教室：20名の募集に対し、36名の申し込み。 ・青空ヨガ教室：20名の募集に対し、15名の申し込み。 ・ハーブを使った香りのワークショップ：午前と午後各20名の募集に対し、午前36名、午後29名の申し込み。 ・夏の草木染めワークショップ：午前と午後各15名の募集に対し、午前18名、午後10名の申し込み。 ・葉っぱ×陶芸 葉脈標本ワークショップ：午前と午後各20名の募集に対し、午前13名、午後12名の申し込み。 ・苔玉ワークショップ：午前と午後各15名の募集に対し、午前15名、午後13名の申し込み。 ・サマーリースのワークショップ：午前と午後各20名の募集に対し、午前20名、午後9名の申し込み。 ・小枝のフレームとウッドフラワーのワークショップ：午前と午後各15名の募集に対し、午前13名、午後4名の申し込み。 ・親子でドライフラワーリースのワークショップ：午前20名の募集に対し、21名のお申し込み。
-------------------------	---

今後の取組み	1 岐阜県中央家畜保健衛生所から馬に関係する飼養衛生管理基準の指導を受け、「岐阜市畜産センター公園家畜伝染病に関するマニュアルを遵守するための手順書」に従って管理を行う。 2 岐阜県中央家畜保健衛生所、岐阜市畜産課、岐阜市公園整備課と連携し、家畜伝染病に対する防疫体制を維持する。 3 芝生広場等の緑地の日常管理（除草、枯損木処理等）を行う。 4 園内に生育する貴重な植物の生態系を守り、持続可能な形で利用できるように努める。 5 樹木名板の設置、サイン類の改修、不要看板の整理など公園まるごと植物図鑑構想を推進する。植物見本園の専門家による改修を継続的に行い、植物の観察がしやすい環境づくり、自然散策会のイベントを開催し、多様な生物が生きられる里山の生態系を守る。 6 支障木・枝の管理、剪定管理などで排出される資源を持続的に効率よく使えるようにするため、プレーパークなど体験型イベントに利用し、公園の緑豊かさを PR する。 7 子どもたちが自由に遊び、自然と触れ合うことができるプレーパークを開催する。会場周辺の竹林、山林を活用し、子供たちの自由な発想で遊び場を作る。 8 秋のイベント「あそびの広場」を開催する。子供を主体とした遊びを企画し、子供たちが芝生広場で楽しめる様々な遊びを準備する。また、お客様からのアンケートで一番多い要望である「動物のふれあい」について、移動動物園、ポニーによる乗馬・餌やり体験・ワークショップを開催する。 9 岐阜高校と合同で希少生物保護のため、希少生物の産卵地の整備、希少生物を捕食する生物の移動および駆除(外来種)など、岐阜高校の指導を受けながら環境整備をより積極的に行う。 10 岩野田中学の特別支援学級の生徒を受け入れ、月 1 回の校外学習を開催する。 11 ときわまちづくり協議会に参加し、地域住民の利用促進に努める。
---------------	--

●所管課の意見

○すべての業務において着実に履行できている。

- ・毎年開催しているバラまつりは、参加者からの要望に応えるため、バラ苗購入者向けアフターケア動画の配信やポニー乗馬体験を新たに実施するなど、利用者満足度の向上に努めている。
- ・気温上昇により来園者が減少する夏季には、多様なイベントや新規ワークショップを導入し、公園利用の促進に努めている。また、ワークショップで空きが出た際は、LINE で追加募集を行うなど、参加機会を増やす工夫を凝らして運営をしている。
- ・定期的に地元小学校を対象に課外授業を実施するなど、地域社会活動に貢献している。

以上により、運営状況は、協定書の内容に基づき、良好である。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・前回のバラまつりではバラ苗の講習会を実施したものの、参加人数に制限があり購入者全体への周知が不十分であった。これを踏まえ、今回のバラまつりではYouTube を活用し、バラ苗の育て方動画を QR コードで配布するなど、利用者満足度の向上に努めた点は評価できる。
- ・来園者数が減少する夏季において、人気のワークショップを継続しつつ、新たに 5 つのワークショップを導入するなど、公園利用者の関心を引く工夫を凝らして利用促進に努めたことは評価できる。さらに、ワークショップへの参加機会を増やすため、LINE で追加募集を行った点も評価できる。
- ・岩野田中学校の特別支援学級の生徒を対象に、農業体験や散策会など毎月異なるテーマで校外学習を実施するなど、創意工夫を凝らしながら地域社会に貢献していることは評価できる。
- ・今後も、災害への危機管理、安全性を保ちながら、公園の利用促進及び満足度向上につながる取り組みを期待する。

管理運営は適正に行われており、良好と認められる。